隔週金曜掲載

和歌山を創る新聞 わかつく

Vol.260
2021.5.7

認定特定非営利活動法人
わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223　FAX 073-423-8355
E-mail info@wnc.jp　URL http://www.wnc.jp/
編集　志場 久起

和歌山を創る新聞「わかつく」バックナンバー

http://www.wnc.jp/wakatsuku/

和歌山を創る新聞「わかつく」は 2013 年 4 月以降のバックナンバーを PDF 形式で公開しています。2017 ～ 18 年に連載した「SDGs を知ろう」全 22 回もまとめてダウンロードできます。

『ONELYS wakayama』でBリーグ参入を目指す！

認定特定非営利活動法人 one-s future は、バスケットチーム『ONELYS wakayama』の運営をしている団体で、障害者スポーツの振興やプロアスリートの育成、スクールでの子どもの育成などにも取り組んでいます。今回はデフバスケットボール（＊）男子日本代表の監督も務めている代表の上田頼飛さんに、活動についてお話を伺いました。

ONELYS wakayama のみなさん

生涯スポーツを楽しむ

ONEとONLYを組み合わせた『ONELYS』は、自分自身の「これだけは負けない」という気持ちだけでなく、行動をひとつずつ積み重ね、苦手なことを得意なことにして羽ばたこう！という思いを込めて名付けられました。

数ある事業のひとつであるONELYS事業は、和歌山市や岩出市、紀の川市だけでなく、大阪や兵庫、愛知などでもスクールを開校し、バスケットボールの普及に取り組んでいます。子どもから大人まで楽しめる生涯スポーツを通して、未来の子どもたちに誇れるまちづくりをしたいと上田さんは話します。

代表の上田さん（右）

絶対に無理と言われ

この４月にチーム『ONELYS wakayama』が発足しました。地域を盛り上げたい選手、プロを目指す選手、デフバスケ選手など12名が所属しています。デフバスケットボールU21日本代表の森井涼太選手（U21デフバスケ世界選手権銀メダル）も加わり、プロバスケットボールリーグ「Bリーグ」への参入に向け、走り出しました。

和歌山では絶対に無理と言われ続けてきたプロスポーツの普及活動。その常識を壊して、地域のみんなに笑顔を届け、地域活性化のスパイスにしたいと意気込んでいます。

コミュニケーションの大切さを軸に

２０１４年に上田さんがデフバスケットボール男子日本代表監督になったことがきっかけで、障害者スポーツの支援活動につながったそうです。２０１６年11月に「ＮＰＯ法人ｏｎｅ-ｓ ｆｕｔｕｒｅ」を設立し、２０２０年３月に認定ＮＰＯ法人となりました。

スポーツ振興のほかにも、和歌山県内外で、運動療育施設や児童発達支援・放課後等デイサービス、健康教室やコミュニケーション講習などの地域創生事業や起業支援事業もおこなっており、活動は多岐にわたっています。

これらの事業をとおして「想いは伝わる」、「感じとること」の大切さを広めたいと話します。デフバスケットボールと出会ったことで学んだコミュニケーションの大切さを軸に活動しています。

バスケットスクールの様子

寄り添いが当たり前でないことも

デフバスケの監督をするときは、ゆっくり話をしたり、身振り手振りも大きくしたり、手話だけに頼らない指導を心がけているそうです。「他のチームに行ったとき、その人が困るでしょ？寄り添ってもらえることが、あたりまえでない社会もあります。そんな環境下に置かれたときに乗り越えられないかも知れない」と。これから出会う社会に馴染めるようにという想いが伝わってきました。

練習試合の様子

セカンドキャリアの育成

スポーツにずっと取り組んできた人たちが、いざスポーツから離れると社会人としてのスキルを学べていないことがあります、と上田さん。実業団チームなどに所属している選手が怪我などでスポーツができなくなると、途端にスポーツから切り離されてしまい路頭に迷う人を多く見てきたといいます。

スポーツの練習に励みながらも、並行して社会や企業でやっていけるスキルの習得ができる環境づくりや就労支援などにも取り組みたいとバイタリティにあふれていました。。

バリアフリーな世界へ

社会的弱者と呼ばれる方たちへの配慮は大切です。しかし、障害者だからとか健常者だからというのではなく、分け隔てなくみんなが楽しみ過ごすことができるバリアフリーな世界が、少しずつでも実現していくことを願ってやみません。

（西峰祐美）

＊デフバスケットボール…聴覚障害者によるバスケットボールのこと。競技ルールは、健常者と同じですが、競技中の仲間が走り回る足音、ドリブルでボールが跳ねる音、味方や監督の声、観客の応援の音などが聴こえにくい、もしくは全く聴こえない状態でのプレイとなります。

認定 NPO 法人 one-s future
http://ones-future.com/
※５月下旬にリニューアル公開予定
●和歌山市・岩出市・紀の川市でスクール開講中
http://ones-future.com/sports/onelys-basketball-school/

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための衛生用品を無料配布します

NPO・ボランティア団体対象

クラウドファンディングサービス“Readyfor”が実施する『新型コロナウイルス感染症:感染拡大防止基金』に寄せられた寄付金を原資に、和歌山県内で非営利活動をおこなう団体が安心して活動できるように、衛生用品の配布をおこないます。

マスク　フェイスシールド　手指消毒液　使い捨て手袋

商品の納品状況により、セット内容が変更になることがあります。
＊1 セット 50 人分を 120 団体に配布予定。

対象：和歌山県内で活動する非営利団体（任意団体含む）
2022 年 3 月までにおこなわれる事業や活動が対象です。
締切：5 月 28 日

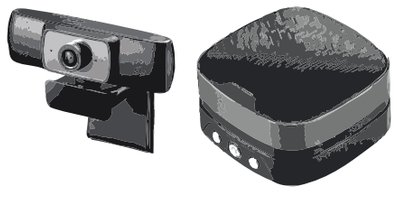
【ご注意】
※ 応募多数の場合は抽選となります。
※ 活動を取材させていただくことがあります。

お申し込みはこちらから

NPO・ボランティア団体向けウェブ会議用スピーカーフォン・広角カメラの貸し出しを実施します

クラウドファンディングサービス“Readyfor”が実施する『新型コロナウイルス感染症:感染拡大防止基金』に寄せられた寄付金を原資に、和歌山県内で非営利活動をおこなう団体を対象としたウェブ会議用スピーカーフォン・広角カメラの貸し出しを実施します。

広角カメラは視野角 150°、Full HD 画質。スピーカーフォンは概ね半径 5m の範囲の集音機能と、スピーカー機能があります。



※この写真は機器のイメージです

スピーカーフォン・広角カメラとも USB 接続ですぐにご利用いただけます。申し込みフォームにある利用規約をご確認のうえ、お申し込みください。なお、機器ご利用に関するご質問にはお答えできません。1 回あたりの貸し出し期間は返送日を含め 7 日以内とさせていただきます。

対象：和歌山県内に所在地があり、かつ和歌山県内で活動している非営利団体
料金：無料（返送にかかる送料も不要です）
締切：6 月 25 日
【ご注意】
※ お申し込みが重なり、用意している個数を超える場合はご希望に添えないことがあります。

お申し込みはこちらから

【両事業共通】事業や活動に利用した時の写真の提供や報告コメントをお願いすることがあります。また、Readyfor への報告に利用させていただくことがあります。
「第 3 回新型コロナウイルス感染症に関する和歌山県内の市民活動に対する影響のアンケート」にご協力ください▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶

認定特定非営利活動法人
わかやまNPOセンター
〒640-8331　和歌山市美園町 5 丁目 6 番 12 号
TEL 073-424-2223（火曜～金曜 10 時～ 17 時）　info@wnc.jp